

【意見招請】2026-2028 年度課題別研修 ICTプロジェクトマネジメント（ICT ソリューションの企画・開発能力向上）に関する業務

独立行政法人国際協力機構
沖縄センター 研修業務課

（意見招請の公示日：2025年12月18日）について、業務仕様書（案）に関する意見と回答は以下のとおりです。

通番	該当頁 入札説明書右下の ページ番号を記載 ください。	該当項目	質問	回答
1	P. 10	別紙1 業務仕様書(案) ② 本邦において研修を実施する意義と沖縄のリソースの活用	ICT利活用事例によるケーススタディについて、“沖縄県内・県外の政府機関、民間企業、研究機関への見学訪問の実施により実現する”とありますが、“別紙2-A科目内容”には「県外」見学が含まれていません。沖縄県内を中心としたケーススタディの事例という認識でよろしいでしょうか。	見学訪問のケーススタディとしまして、初年度（2026年度）は沖縄県内（離島地域含む）を中心としております。県外については27年度以降に検討させていただきます。
2	P. 12	別紙1 業務仕様書(案) 2 (3) 現行のICT研修からのフィードバック	“②自国の課題解決に向けたRFP(Request for Proposal)の作成”とありますが、研修員が作成するRFPが誰に対するRFPなのか明確にさせていただくと提案しやすくなると思いますが、いかがでしょうか。	研修員は前述の総合演習（プロジェクトマネジメント演習）の体験を経て、その流れで所属組織の業務効率化に向けた「RFP骨子」をアクションプランとして作成してもらうことを想定しております。最終的なRFPは、研修員が帰国後に組織外団体やベンダーに向けて発注するものと想定しておりますが、仕様書の記載に統一感を持たせるため、当該部分は修正を加えさせていただきます。ご意見ありがとうございます。
3	P. 13	別紙1 業務仕様書(案) 3 業務予定期間	“経費精算”とありますが、本事業は精算対象となる費目も多く、ランサム契約とすることで、JICA沖縄様および受託企業の双方にとって負担が軽減すると思いますが、いかがでしょうか。	本事業は今回の契約が初年度であり、実施に要する各費目の実績や変動要因等について、現時点では十分なデータが蓄積されておりません。このため、現段階でランサム方式を適用することは、適正な契約金額の設定が難しい状況と考えております。つきましては、本年度の実施状況や費用構造を踏まえ、2年度目以降にランサム方式の導入可能性について検討を進めたいと考えています。
4	P. 14	別紙1 業務仕様書(案) 4 研修内容 4 (1) 研修コース	開催コース数について“但し毎年の要望調査の結果に応じてコース数が決定される”とありますが、開催コース数が不確定ですと、ダイレクタ、コースリーダー、講師・運営委員の配置計画が極めて困難になります。最小限の要員確保では開催コースが増えたときに対応できず、開催数の増加を見越した要員確保は過剰な人件費負担が生じるリスクがあります。そのため開催コース数は入札公示のタイミングで確定いただくことは可能でしょうか。	公示（2026年3月予定）時点で確定するコース数は、2026年度分のみとなりますことを予めご了承ください。
5	P. 15	別紙1 業務仕様書(案) 4 (2) コース概要 表2 研修コース概要表	ICTプロジェクトマネジメントAの研修期間が2026. 8. 19～2026. 10. 17、ICTプロジェクトマネジメントBの研修期間が2026. 10. 21～2026. 12. 19となっています。研修日程は仮とのことですが、2コースの間が土日を含めて4日間しかなく、その間で研修に必要なハードウェア及びソフトウェアのセットアップ等準備が間に合わないと考えます。短くとも1週間以上は必要と考えますが、いかがでしょうか。	仕様書内の研修期間は現時点の仮の日程となり、研修期間は「来日～帰国日」を表しております。また技術研修日数も現時点で仮の日数となり、正式な日数は公示（2026年3月初旬）の段階でお知らせする予定です。またAコース⇒Bコースへの移行期間として10日前後（土日含む）を設ける予定としておりますが、研修に必要なハードウェアはAコースのものをBコースで流用する方向で考えております（セットアップも同様）。いただいたご意見も参考にしつつ、改めて公示のタイミングでお知らせするようにします。
6	P. 15	別紙1 業務仕様書(案) 表2 研修コース概要表	Aコース、Bコースの技術研修日数が2日間異なります。“別紙2-A科目内容”の技術研修日数の23日が正となりますでしょうか。	
7	P. 21	別紙1 業務仕様書(案) 5 (2) 各職位に求められる要件	“ダイレクタ及びコースリーダーについては原則、変更は認めない”とありますが、昨今の働き方の多様化等、労働環境の変化により、3年間要員を固定することが難しくなっています。変更の要件を緩和していただけたらとより提案しやすくなると思います。また、コースリーダーについては複数の候補者を提案させていただき、状況により候補者の中から各年度の要員をアサインできるようにしていただくと提案しやすくなると思いますが、いかがでしょうか。	ご意見ありがとうございます。要員の固定について、過去のコースでも健康上による変更を認めたケースがありました。基本的には仕様書の記載の通りとしたいと思いますが、状況が変わった場合は双方合意の上で対応を検討することとなります。
8	P. 26	別紙1 業務仕様書(案) 6 (1) 機器及びソフトウェア	“研修用機材は外国人が使用することを考慮し、英語仕様とすることを原則とする”とありますが、PCについてはOSを英語版に切り替えることができるため、日本語仕様のPCでも研修で使用する上では問題ないと思いますが、いかがでしょうか。	基本OSは日本語仕様のもので問題御座いません。但し外国人が利用するに英語KBD（US配列）を考慮する必要が御座います。
9		別紙2-A 科目内容	単元目標と各科目の関連を記載いただく各科目内容を検討しやすくなると思いますが、いかがでしょうか。	ご意見ありがとうございます。関連（副題）に含まれる科目はあくまで想定範囲であるため、単元目標・研修目標に沿った科目であれば、すべてを実施する必要は御座いません。
10		別紙2-A 科目内容	研修日数に対して学習する項目である“関連（副題）”が多く収まり切れないと考えます。可能であれば特定の“副題”をカットするなど見直していただきたいと考えますが、いかがでしょうか。	
11		別紙2-A 科目内容 ソフトスキル	コミュニケーションが3日となっていますが、来日前のオンライン学習である程度学んでいたとしても、4つのスキルを演習も含め習得するには最低4日は必要と考えますが、いかがでしょうか。	
12		別紙2-A 科目内容 ハード・テクニカルスキル	戦略・企画システム開発及び管理が4日ありますが、こちらの研修科目が本研修コースで最も重要になると考えます。4日で指定された内容をカバーするのは難しく、6日は必要と考えますが、いかがでしょうか。一方、プロジェクトマネジメント4日については指定された内容を2日程度でカバーできると考えます。上記2科目それぞれ6日、2日とするとういと考えますが、いかがでしょうか。	研修科目の日数については、全体講義日数の範囲内であれば調整可能としております。契約交渉時においてJICA沖縄と協議のうえ決定するものとします。
13		別紙2-A 科目内容 見学	県内1日となっていますが、“別紙1 業務仕様書(案)” P. 10に「沖縄県内・県外の政府機関、民間企業、研究機関への見学訪問の実施により実現する」と記載があり、沖縄県内に加え、3日間程度で県外（東京）の政府機関や民間企業等を見学することが望ましいと考えますが、いかがでしょうか。	通番1と同様
14		別紙2-A 科目内容 アクションプラン	“自国課題に置き換えたRFP (Request for Proposal) を作成する”とありますが、RFPを作成するためには元となる企画書が必要となると考えます。「企画書を作成」、または「企画書及びRFPの骨子を作成」と変更いただくと提案しやすくなると思いますが、いかがでしょうか。	ご意見ありがとうございます。本コースのアクションプラン（RFP）は、「プロジェクトマネジメント演習」の延長線上にて各自で制作するものと想定しているため、企画書及びRFPの骨子の作成が最も重要であると考えております。
15		別紙2-A 科目内容 アクションプラン	2日となっていますが、RFPを作成し、発表することを考えると2日では短いと考えますが、いかがでしょうか。	
16		別紙2-B 業務フロー詳細 項番500 研修実施（科目毎） 項番512 研修員個人カルテ作成 項番522 研修員個人カルテ作成	“研修員個人カルテ”とありますが、研修員個人カルテに関して、具体的な内容を業務仕様書（案）に記載いただくと提案しやすくなると思いますが、いかがでしょうか。	ご意見ありがとうございます。研修員個人カルテの中身について仕様書に追記させていただきます。
17		別紙2-A 科目内容 別紙2-B 業務フロー詳細	オンライン学習（来日前）の提供時期、提供方法等詳細を記載いただくと提案しやすくなると思いますが、いかがでしょうか。	ご意見ありがとうございます。提供時期や方法について、仕様書に追記させていただきます。